



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社 小田原エンジニアリング 上場取引所 JQ  
 コード番号 6149 URL <http://www.odawara-eng.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長代理 (氏名) 石塚 立身 TEL 0465(83)1122  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	2,143	18.8	344	230.2	358	195.3	182	209.0
21年12月期第2四半期	1,804	—	104	—	121	—	59	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	31.03	—
21年12月期第2四半期	10.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	9,353	7,173	76.7	1,225.19
21年12月期	8,355	7,070	84.6	1,200.86

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 7,173百万円 21年12月期 7,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	38.4	460	408.4	490	248.3	270	227.7	46.01

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	6,392,736株	21年12月期	6,392,736株
22年12月期 2 Q	537,608株	21年12月期	504,488株
22年12月期 2 Q	5,881,408株	21年12月期 2 Q	5,889,326株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢に厳しさが残るものの、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、輸出の緩やかな増加や企業収益の改善及び設備投資の下げ止まりなど、景気回復の兆しが見られました。

一方、アメリカ・ヨーロッパを中心とした景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響など、景気を下押しするリスクや雇用情勢の悪化懸念が残る中、世界経済は依然として不透明な状況が続きました。

このような状況下、当グループにおきましては、主に中国の旺盛な設備投資需要を中心に、省エネ化・環境関連設備需要にも対応し、国内外における積極的な営業活動の結果、受注高が2,806百万円（前年同四半期比246.9%増）、受注残高2,880百万円（前年同四半期比116.8%増）、生産高は2,379百万円（前年同四半期比107.8%増）となり、受注環境・生産活動ともに、回復基調で推移しました。

当第2四半期連結累計期間の当グループの営業成績といたしましては、受注獲得が順調なことから、売上高はほぼ計画通り2,143百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。また、利益面につきましては、売上高の順調な増加と生産活動の効率化などによる原価率改善に加え、適格退職年金制度から確定給付企業年金制度への移行に伴う退職給付費用の減額により、営業利益は344百万円（前年同四半期比230.2%増）、経常利益は358百万円（前年同四半期比195.3%増）となり、四半期純利益は182百万円（前年同四半期比209.0%増）となりました。

当グループは、モーター用巻線設備の開発、設計・製造、販売を行っており、事業の種類別では一つのセグメントに属しております。従いまして、事業の種類別セグメント情報の開示は行っておりません。

なお、当グループの所在地別セグメント業績は、次のとおりであります。

日本（当社及び国内連結子会社1社）での売上高は2,025百万円（前年同四半期比20.3%増）、北米（在外連結子会社1社）での売上高は118百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。また、当グループの海外売上高の合計は885百万円で、連結売上高に占める海外売上高の割合は41.3%となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.5%増加し、7,926百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が783百万円、商品及び製品が180百万円増加し、未収還付法人税等が91百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、1,426百万円となりました。この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて11.9%増加し、9,353百万円となりました。

#### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて109.5%増加し、1,763百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が121百万円、未払法人税等が203百万円及び前受金が577百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、415百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて69.6%増加し、2,179百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、7,173百万円となりました。これは主に、四半期純利益等の計上による利益剰余金123百万円の増加と、自己株式を21百万円取得したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ103百万円(13.6%)増加し、864百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期に比べ625百万円(74.6%)減少し、213百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益351百万円、仕入債務の増加額123百万円及び前受金の増加額576百万円等であります。また、支出の主な内訳は、売上債権の増加額782百万円、たな卸資産の増加額132百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同四半期に比べ1,065百万円(96.8%)減少し、35百万円となりました。収入の主な内訳は定期預金の満期払戻し(純額)400百万円等であります。また、支出の主な内訳は、有価証券(譲渡性預金)の取得・償還による純支出400百万円、有形固定資産の取得による支出21百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同四半期に比べ37百万円(31.8%)減少し、79百万円となりました。主な内訳は、自己株式の取得による支出21百万円、配当金の支払額58百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済では依然として不透明な状況が続く中、足元では国内企業収益の改善や設備投資の下げ止まりなど、景気回復の兆しが見られました。

このような状況下、当グループにおきましては、国内外における積極的な営業活動と生産活動の効率化による原価率の改善により、受注・生産ともに好調に推移いたしました。

これらの状況を踏まえ、平成22年2月12日付で公表した通期業績予想値については、今般修正させていただくことといたしました。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,661,996	1,958,869
受取手形及び売掛金	1,238,346	455,031
有価証券	3,762,527	3,362,473
商品及び製品	461,867	281,283
仕掛品	553,467	602,710
原材料及び貯蔵品	32,881	31,020
未収還付法人税等	29	91,550
繰延税金資産	172,904	124,071
その他	49,166	15,724
貸倒引当金	△6,645	△408
流動資産合計	7,926,542	6,922,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	840,625	834,952
減価償却累計額	△633,736	△620,572
建物及び構築物 (純額)	206,889	214,379
機械装置及び運搬具	653,599	646,964
減価償却累計額	△536,301	△527,995
機械装置及び運搬具 (純額)	117,297	118,969
工具、器具及び備品	306,680	302,555
減価償却累計額	△288,556	△281,677
工具、器具及び備品 (純額)	18,123	20,878
土地	745,273	748,950
有形固定資産合計	1,087,583	1,103,177
無形固定資産		
ソフトウェア	9,944	6,759
ソフトウェア仮勘定	22,806	10,694
電話加入権	2,179	2,179
無形固定資産合計	34,930	19,633
投資その他の資産		
投資有価証券	120,140	136,397
前払年金費用	18,565	—
繰延税金資産	147,516	159,737
その他	17,847	14,613
投資その他の資産合計	304,070	310,748
固定資産合計	1,426,584	1,433,559
資産合計	9,353,126	8,355,887

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,022	447,182
短期借入金	1,265	1,200
未払金	94,828	54,993
未払法人税等	204,968	1,314
前受金	782,374	205,347
賞与引当金	25,795	21,455
アフターサービス引当金	36,304	32,602
その他	49,228	77,883
流動負債合計	1,763,786	841,979
固定負債		
長期借入金	776	1,372
繰延税金負債	1,395	1,975
退職給付引当金	118,349	183,356
役員退職慰労引当金	295,200	256,217
固定負債合計	415,721	442,921
負債合計	2,179,508	1,284,901
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,580,813	1,580,813
利益剰余金	4,937,820	4,814,185
自己株式	△420,035	△398,878
株主資本合計	7,349,415	7,246,937
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,104	29,960
繰延ヘッジ損益	△92	—
為替換算調整勘定	△197,809	△205,911
評価・換算差額等合計	△175,797	△175,951
純資産合計	7,173,618	7,070,986
負債純資産合計	9,353,126	8,355,887



## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,804,288	2,143,932
売上原価	1,318,905	1,416,096
売上総利益	485,383	727,836
販売費及び一般管理費	381,171	383,715
営業利益	104,211	344,120
営業外収益		
受取利息	13,921	8,544
受取配当金	988	964
その他	3,160	5,596
営業外収益合計	18,070	15,105
営業外費用		
支払利息	74	45
為替差損	842	606
自己株式取得費用	—	210
営業外費用合計	916	862
経常利益	121,365	358,363
特別利益		
固定資産売却益	—	1,154
貸倒引当金戻入額	900	—
特別利益合計	900	1,154
特別損失		
固定資産売却損	41	—
固定資産除却損	10	32
投資有価証券評価損	—	3,446
たな卸資産評価損	10,184	—
減損損失	578	4,488
特別損失合計	10,814	7,967
税金等調整前四半期純利益	111,450	351,551
法人税、住民税及び事業税	108,600	200,942
法人税等調整額	△56,221	△31,909
法人税等合計	52,379	169,033
四半期純利益	59,071	182,517

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	111,450	351,551
減価償却費	40,578	33,975
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3,446
固定資産売却損益 (△は益)	41	△1,154
固定資産除却損	10	32
たな卸資産評価損	10,184	—
減損損失	578	4,488
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,067	△65,006
前払年金費用の増減額 (△は増加)	—	△18,565
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,033	38,983
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,167	4,340
アフターサービス引当金の増減額 (△は減少)	△3,265	3,599
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△900	6,237
受取利息及び受取配当金	△14,909	△9,509
支払利息	74	45
売上債権の増減額 (△は増加)	889,726	△782,466
たな卸資産の増減額 (△は増加)	399,439	△132,477
仕入債務の増減額 (△は減少)	△255,507	123,109
未払金の増減額 (△は減少)	68,231	35,636
前受金の増減額 (△は減少)	△213,677	576,517
その他	△5,020	△60,980
小計	1,042,966	111,803
利息及び配当金の受取額	12,435	7,926
利息の支払額	△74	△46
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△216,095	93,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	839,231	213,273
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	400,000
有価証券の取得による支出	△2,750,000	△2,450,000
有価証券の償還による収入	1,700,000	2,050,000
有形固定資産の取得による支出	△51,012	△21,278
有形固定資産の売却による収入	0	2,498
無形固定資産の取得による支出	△832	△12,958
投資有価証券の取得による支出	△300	△300
長期貸付けによる支出	—	△5,500
長期貸付金の回収による収入	1,050	2,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,101,093	△35,430
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△441	△593
自己株式の取得による支出	△689	△21,157
配当金の支払額	△116,095	△58,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,226	△79,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,265	5,285
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△391,354	103,180
現金及び現金同等物の期首残高	1,655,262	761,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,263,908	864,523

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)

当グループは、モーター用巻線設備の開発、設計・製造、販売を行っており、事業の種類別では一つのセグメントに属しております。従いまして、事業の種類別セグメント情報の開示は行っておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,683,025	121,262	1,804,288	—	1,804,288
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,367	—	5,367	(5,367)	—
計	1,688,393	121,262	1,809,655	(5,367)	1,804,288
営業利益又は営業損失(△)	318,459	△3,618	314,840	(210,629)	104,211

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域  
北米—米国

3 たな卸資産については、当第1四半期連結会計期間より、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて日本における営業利益が1,678千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,025,268	118,664	2,143,932	—	2,143,932
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,233	—	9,233	(9,233)	—
計	2,034,501	118,664	2,153,166	(9,233)	2,143,932
営業利益又は営業損失(△)	573,980	△14,630	559,349	(215,228)	344,120

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域  
北米—米国

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高(千円)	145,520	948,617	61,264	1,155,403
II 連結売上高(千円)				1,804,288
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.1	52.6	3.4	64.0

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。  
 北米 ー米国、メキシコ、カナダ  
 アジアー中国(香港を含む)、台湾、タイ、インドネシア、韓国  
 その他ーブラジル、スロベニア、スロバキア  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高(千円)	115,790	709,744	59,474	885,008
II 連結売上高(千円)				2,143,932
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.4	33.1	2.8	41.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。  
 北米 ー米国、メキシコ  
 アジアー中国(香港を含む)、韓国、タイ、インドネシア、台湾  
 その他ードイツ、スロベニア、ブラジル  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。